体験を通して行政の在り方を考える	介護等実地体験	47.5	社会福祉施設で介護補助業務等を実地に体験し、利用者との交流やスタッフとの意見交換を通じて、現在、政府が重要政策として取り組む福祉の現場を知り、その現状や実態への理解を深めるとともに、社会や地域のあるべき姿、ボランティア活動の役割や機能、建物・道路等の公共施設の整備の在り方等について、所属する府省の枠を超えた広い立場から学び、国民のニーズと行政の関わり方等について認識を深める。また、行政サービスの受け手である国民の立場に立って、ものを見ることの重要性を学び、国民全体の奉仕者である公務員としての自覚を高める。
	地方自治体実地体験又は被災地支援（ボランティア）	46.0	地方自治体の現場を見て、話を聞き、実務を体験したり、地域住民との意見交換を行うこと等を通じ、地方自治体の実態、国と地方との関係、地域の多様性、生活実態、住民の意識やニーズ等について認識を深める。被災地支援（ボランティア）は被災地における活動、被災住民との意見交換等を通じ、被災地の実態、被災住民の意識やニーズ等について理解を深め、復興に向けた行政やNPOなどの取組を考える。
	現場訪問	8.5	中小企業、NPO等を訪問し、関係者との意見交換等を通じて、政策立案を行う上で現場を知ることの重要性を学ぶ。また、行政が直面する諸課題について認識を深めるとともに、行政の役割・在り方について考える。
	国際行政の現場	3.0	国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく生きた話を聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、諸外国との交渉や国際協力の在り方などについて認識を深める。
	外国から見た日本への期待	3.5	駐日大使館に勤務する外交官から、外交交渉の場における日本政府との折衝や実際に日本で暮らした経験を踏まえた上で、外国の視点から見て日本がこれから国際社会において果たすことを期待される役割、外国人の目から見て日本と外国との相互理解・協力を増進するため心掛けるべきことなどについて、理解を深める。
諸行事	開・閉講式、オリエンテーション等	5.5	
合　計　189.0時間			

（注）それぞれの科目につき、講義、討議、実習等の技法を組み合わせて実施している。

⑶　３年目フォローアップ研修

原則として⑵の初任行政研修を受講した者のうち、本府省において政策の企画立案等の業務に従事することが想定される採用３年目の者を対象に、４コースに分けて４日間の研修を実施している。

平成25年度も、「公務員の在り方」についての事務次官等による講義、社会問題の解決に事業方式で取り組む社会起業家等による講義、班別（６～７人）による「公務員としての２年間を振り返り、今後の公務員生活を考える」を課題とする意見交換などからなるカリキュラムにより実施した。

⑷　行政研修（課長補佐級）

本府省課長補佐級に昇任後おおむね１年以内の者のうち、政策の企画立案等の業務に従事する者を対象に、３日間又は４日間の研修を７コース実施した。同研修は、平成22年度から課長補佐級昇任直後の者にあまねく受講してもらえるよう、従来の８日間（通勤３日間及び合宿５日間）から３日間（合宿研修５コース、通勤研修２コース）に日程を短縮して実施してきたが、３日間の日程では、班別討議や政策提言・分析が表面的なものにとどまるケースがあり、平成25年度は研修員に分析を深めさせるためによりふさわしい４日間の日程のコースを２コース設けた。

研修内容は、上に述べた班別討議を経て政策提言・分析を行う「政策課題研究」等に加え、個々の研修員が抱えている行政課題等について多様な視点から班別に討議する「個別政策研究」、「職業と倫理」に関する講義・演習、「ファシリテーション」、「公務員への期待」などからなるカリキュラムを実施した。

⑸　行政研修（課長補佐級）国際コース

英語による発表や議論等を通じ、英語での意思伝達及び説得能力の向上を図り、各府省における行政の国際化に対応できる人材の育成に資すること等を目的とする国際コースを、平成24年度の試行実施の結果を踏まえ、平成25年度から本格実施した。

⑹　行政研修（課長補佐級）女性管理職養成コース

近い将来、本府省の管理職員として行政運営を担い、後に続く女性管理職員のロールモデルとなることが期待される者を対象に、官民の女性リーダーとの意見交換やリーダーシップ、部下のマネジメント、自らの働き方について考察する研修を試行的に実施した。

⑺　行政研修（課長補佐級）韓国中央公務員教育院派遣コース及びシンガポール派遣コース

本府省の課長補佐級の職員を対象に、平成18年度から韓国への派遣研修を実施してきている。平成25年度は、同国の国家公務員研修機関である中央公務員教育院を訪問し、日韓の公務員の意見交換や韓国の行政の実情等を学ぶ派遣研修を１コース実施した。

あわせて、シンガポール政府機関、大学等を訪問し同国の実情を学ぶシンガポール派遣コースを１コース実施した。

⑻　行政研修（課長補佐級）リーダーシップ研修

各府省の課長補佐級の職員で、将来、本府省の幹部職員として行政運営の中核を担うことが期待される者を対象に、平成25年10月から平成26年１月までの間に通算14日間の研修を１コース実施した。

本研修は、国家の在り方や行政の在り方について討議・発表する「課題研究」、「駐日在外公館職員との意見交換」、小グループに分かれてテーマを設定し、現場訪問を経て政策提案・改革ビジョンを作成・発表する「共同研究」などのカリキュラムで実施した。

⑼　行政研修（課長級）

本府省の課長級職員を対象に主に４日間の合宿研修を３コース実施している。

平成25年度は、「行政の在り方」、我が国の対外関係等をテーマとした「政策課題研究」、「古典に学ぶ」、人事管理・組織管理を考える「マネジメント研究」などをカリキュラムとする一般的なコースを１コース実施したほか、管理職員が人事管理や組織管理を適切に行うことが必要との考えに基づき、「危機管理」、「メンタルヘルス」などのカリキュラムからなる行政研修（課長級）マネジメントコースを１コース実施した。さらに、管理職員が現場に対する知見を深めることが重要との考えに基づき、東日本大震災の被災地視察や自治体等関係者との意見交換を行う行政研修（課長級）現場訪問コースを１コース実施した。

⑽　行政研修（係員級特別課程）

係長級への昇任直前のⅡ種・Ⅲ種等採用職員で、各府省が将来の幹部要員として計画的に育成しようとしている者又はその選抜の候補となる勤務成績優秀者を対象に２週間の研修を実施している。

平成25年度は、「公務員倫理を考える」、「政策課題研究」、「英語学習技法」、「コミュニケーション研究」、「企業等訪問」などからなるカリキュラムにより３コース実施した。

⑾　行政研修（係長級特別課程）

本府省係長級のⅡ種・Ⅲ種等採用職員で、各府省が将来の幹部要員として計画的に育成しようとしている者（計画的育成者）を対象に２週間の研修を３コース実施している。

平成25年度は、業務多忙な者等の参加を促進するため、３コースのうち１コースを全期間通勤によるコースとした。

本研修はいずれも、「公務員と職業倫理」、「行政政策事例研究」、「政策ディベート」、「古典に学ぶ」、「企業等訪問」などからなるカリキュラムにより実施した。

⑿　行政研修（課長補佐級特別課程）

本府省課長補佐級のⅡ種・Ⅲ種等採用職員のうち、計画的育成者を対象に２週間の研修を２コース実施している。

平成25年度は、「これからの公務員の在り方」、「政策課題研究」、「リーダーシップ研究」、「企業等訪問」等からなるカリキュラムにより実施した。

なお、特別課程の係長級及び課長補佐級においては、研修員の所属府省における今後の育成の参考に資するため、研修期間中のレポートの内容、研修への参加状況等を通じて、研修員の能力・適性等について評価を行った。